

1 回生 綾部剛さん (みやき町出身)



先端医療を多くの人に

文系人の飽くなき挑戦

目の前のことを一生懸命に

私が高校生の時に、将来は何をしたい、という確たる希望はありませんでした。漠然と思い描く将来像はありましたが、今の状況とは全く違う世界です。もともと専門性を究めるといふより文系ゼネラリスト志向だったので、幅広く学べる大学に行って、そこで将来のことを決めればいい、とくらいにしか思っていませんでした。

中学、高校の時から将来の目的が定まっている人は、その道に向かって突き進めば良いと思います。一方で、目的が定まっていないからといって不安に思う必要はありません。全ては、いつか目的を見つける時までの下準備だと思って、勉強であれ部活であれ、今できることに一生懸命打ち込んでください。そのことが将来に役立つ時が必ず来ます。

大学進学は目標ですが、人生の目的はその先にあります。

iPS 細胞の実用化に向けて

私は大学卒業後、製薬会社で経営企画などの仕事を行ってきましたが、昨年、iPS 細胞から血小板を製造する再生医療系のベンチャー企業に転職しました。

血小板輸血は年間 80 万バッグ超が使用されており、医療インフラの一部となっています。しかし、先進国においては、献血率の低下や少子高齢化により不足する懸念があり、また、多くの途上国では、血液感染症の問題などから献血システムが未整備の状況です。

iPS 細胞から血小板を低コストで大量・安定的に供給できるようになれば、上記の問題を解消し世界規模での貢献ができると思っています。

私は研究者ではないので、資金調達や経営管理等で研究開発活動を支えるのがメインの業務ですが、新しい世界の実現に貢献できるよう活動しています。

- 1990 年 3 月 弘学館高等学校卒業
- 1994 年 3 月 慶應義塾大学総合政策学部卒業
- 1994 年 4 月 久光製薬株式会社入社
- 2001 年 3 月 慶應義塾大学大学院
経営管理研究科卒業
- 2014 年 3 月 執行役員企業戦略室長
- 2018 年 11 月 株式会社メガカリオン入社
取締役最高財務責任者

(2019 年 10 月現在)



亀鑑会での集合写真

綾部剛さんのとある一日

- 6:30 自宅を出る (通勤中にメール、新聞、業界紙等チェック)
- 9:00 出社
- 10:00 社内会議
- 13:00 企業訪問
- 16:00 社内で作業
- 19:00 退社
- 23:00 ジムに寄って帰宅

後輩へのメッセージ

同じ目標を持ち、同じ釜の飯を食べてきた仲間は、それぞれの進路が違っても、卒業してからも一生の友人となることでしょう。悩んだ時、落ち込んだ時など、たまには昔の仲間に出てみると、気持ちが楽になるかもしれません。また、剣道部では OB・OG 会として亀鑑会を組織しており、設立して 30 年を迎えます。現役部員への支援を行うとともに、毎年終りに亀鑑会総会・懇親会を開き、上下級生の分け隔てなく交流を深めています。皆さんの参加をお待ちしています。